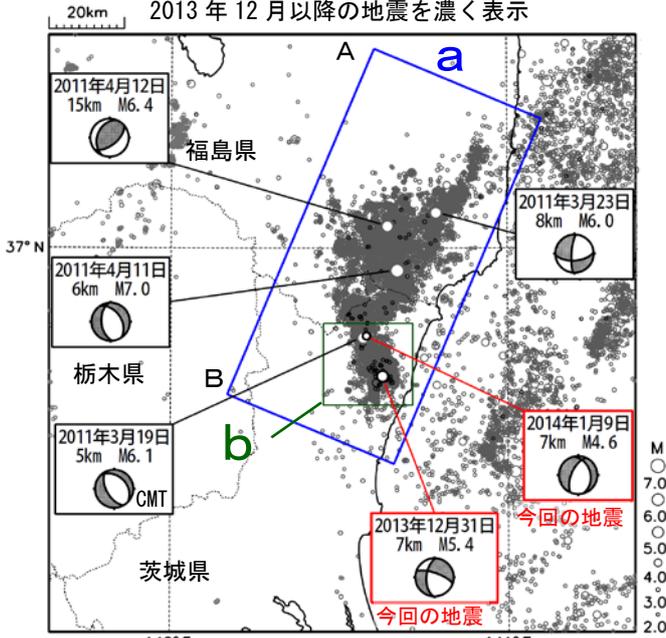


12月31日、1月9日 茨城県北部の地震

震央分布図※

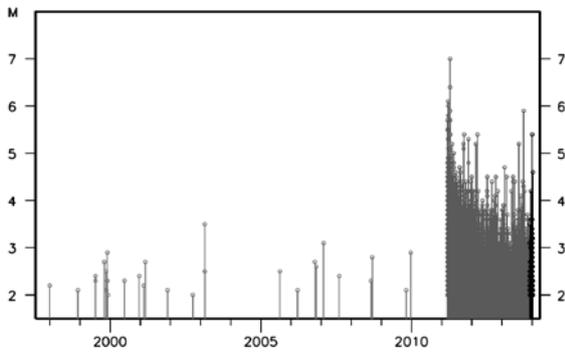
(1997年10月1日～2014年1月9日、
深さ0～30km、 $M \geq 2.0$)
2013年12月以降の地震を濃く表示



領域a内のM6.0以上の地震と今回の地震に吹き出しをつけた。

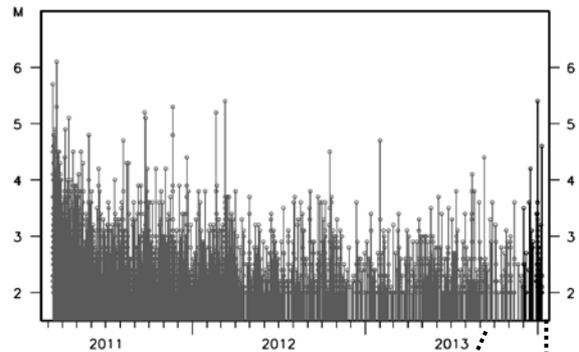
領域a内のM-T図※

(1997年10月1日～2014年1月9日)



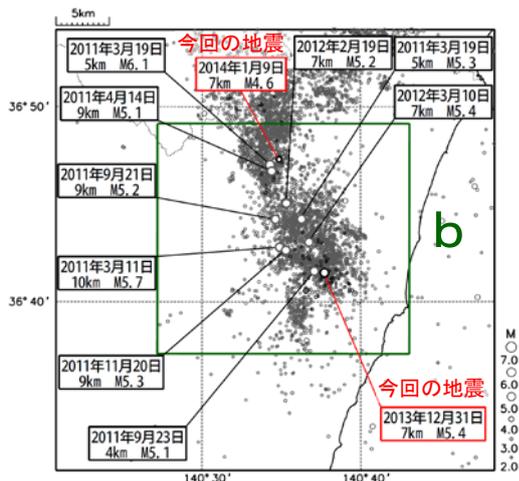
領域b内のM-T図※

(2011年3月1日～2014年1月9日)



震央分布図※

(2011年3月1日～2014年1月9日、
深さ0～30km、 $M \geq 2.0$)
2013年12月以降の地震を濃く表示



※ 2011年3月13日～5月30日に未処理のデータがある。

2013年12月31日10時03分に茨城県北部の深さ7kmでM5.4の地震(最大震度5弱)が発生した。この地震は地殻内で発生した。この地震の発震機構は北東-南西方向に張力軸を持つ横ずれ断層型である。また、2014年1月9日03時57分に茨城県北部の深さ7kmでM4.6の地震(最大震度4)が発生した。この地震の発震機構は東西方向に張力軸を持つ正断層型である。

今回の2つの地震の震源付近(領域b)では、12月31日以降、やや活動が活発になっている。

領域bでは、「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」の発生以降、M4.0以上の地震がしばしば発生しており、2011年3月19日には、M6.1の地震(最大震度5強)が発生している。

福島県浜通りから茨城県北部にかけての地殻内(領域a)では、東北地方太平洋沖地震の発生後、地震活動が活発化したが、全体として次第に低下してきている。今回の地震はこの活動域の南部で発生した。